濯

くん おん タク

17画 ⺡ ⺡ 濯 濯 濯 濯 濯 ―はらう

なりたち 旧字体は濯。躍る意味の翟と、氵(さんずい)との会意形声字で、〝水を躍らせる〟という意味の字。水をバチャバチャと跳ね躍らせて〝布を洗い濯(すす)ぐ〟ことを表した字。

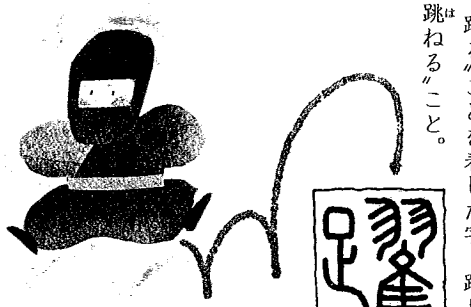
いみとじゅくご
▼洗い濯(すす)ぐ。
洗濯…洗い濯(すす)ぐこと。衣類などの汗や汚れを水で洗い濯ぐこと。

躍

くん おん ヤク おどる

21画 ⺟ 𧾷 𧾷 𧾷 𧾷 𧾷 ―右上へはらう

なりたち 旧字体は躍。雉(じ)が羽をパタパタさせる意味の翟と、⻊(あしへん)との会意形声字。足をパタパタさせて〝躍る〟ことを表した字。〝躍り跳ねる〟こと。



いみとじゅくご
▼躍り跳ねる。跳ぶ。
跳躍…「跳」も「躍」も、躍り跳ねること。跳び上がること。
例 跳躍競技(高跳び、幅跳び、三段跳びなど。)
一躍…一跳び。転じて、順序を跳び越して進歩(出世)すること。
活躍…活発に躍り跳ねること。転じて、目覚ましい働き(仕事)をすること。
飛躍…飛び上がること。転じて、急に大活躍をすること。躍進すること。また、順序を越えて進むこと。
▼活躍。
暗躍…陰で活躍すること。
躍動…生き生きと動くこと。
▼いら立つ。
躍起…心が順序を跳び越して働くの意味で、いら立つこと。用例 躍起になる。

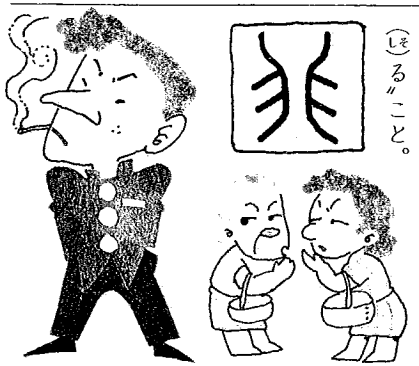
非

くん おん ヒ

【5年】

8画 ⺅ ⺅ 丰 丰 非 非 ―はらう

なりたち 鳥の羽の左右反対に開く形をかたどり、〝反対(否定)〟の意味を表した指事字。〝反対である・背く・あらず〟の意味に用いる。転じて、〝誹(そし)る〟こと。



いみとじゅくご
▼反対。あらず。そうでない。
非常…❶通常の程度でないこと。用例 非常に小さい。❷思いがけない異常なこと。
例 非常事態
非凡…平凡でないこと。普通より際立って優れていること。用例 非凡な才能。
非業…仏教で、前世の因縁によらないこと。用例 非業の最期を遂げる。(思いがけない災難で死ぬ。)
▼良くない。道に背く。
非道…人の道に背いた良くないこと。例 極悪非道
非行…道理に外れた悪い行い。
前非…以前にした悪い行い。
用例 前非を悔いる。
▼誹(そし)る。
非難…欠点や間違いなどをとがめること。
よみかた 非公式・是非・理非

扉

くん おん ヒ とびら

12画 ⺕ 戸 戸 扉 扉 扉 ―はらう

なりたち 反対の意味の非と、戸との会意形声字で、左右反対に開く戸を表した字。また、排(押しのける)の意味の非と考えれば、〝押し開く戸〟であるともいえる。〝開き戸・両開きの戸〟。

いみとじゅくご
▼扉。
門扉…門の扉。
鉄扉…鉄の扉。
開扉…扉を開くこと。特に普段は開けない仏像の安置された部屋の扉を開いて仏像を拝観させる意味に用いることがある。